

令和5年度学校自己評価システムシート (県立越生高等学校)

目指す学校像	生徒一人一人の長所を伸ばし、社会で活躍できる「人財」の育成を目指す学校
--------	-------------------------------------

重点目標	1 主体的な学びによる基礎学力の充実と専門的な能力の向上
	2 豊かな心と自主的・自立的な態度の育成および進路意識の向上による進路希望の実現
	3 保護者や地域と連携した安心・安全な開かれた学校づくり

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】 ・全体的には学習環境、学習態度ともに良好であるが、ごく一部の生徒に学習意欲の面での不足が認められる。 ・学期終了後の欠点保有者を対象とした補習については、指導の明確化により前年度よりも徹底することができている。 ・ICT活用、タブレット端末の本格的な運用等に関する校内体制づくりのため、情報管理部を新設した。 【課題】 ・様々な問題を抱えた生徒の個々に合わせた教科指導を心掛け、引き続き基礎・基本の習得に粘り強く取り組ませていく必要がある。 ・欠点を取らせないようにするための事前指導に、より重点を置く。 ・ICT機器が授業に取り入れられている頻度はまだ低い。 ・学年や教科の連携による、検定試験に取り組みやすい日程調整、補習実施のための担当教員の業務調整を行う。	○学びの質の向上	①基礎学力不足の生徒に対する補習や課題の適切な実施。 ②特別な配慮を必要とする生徒への積極的な声掛けによる基本的学習習慣の確立。 ③定期考査に向けた家庭学習の習慣化。	①②学習内容を理解できる生徒が増えたか。 ③アンケート結果に生徒の学習習慣の確立が見られるか。			
		○学習環境の整備と学習意欲の向上	①期限内の課題提出を積み重ねさせるための声掛け。 ②1学年配当科目を中心とした授業内におけるICT機器の活用。 ③英語検定・漢字検定など資格試験の奨励と、そのための日程調整および業務調整。	①課題の未提出や提出遅れがないか。 ②アンケート結果にICT機器活用の実績が表れているか。 ③検定試験に取り組む生徒の割合が増加したか。			
2	【現状】 ・多くの生徒が落ち着いた学校生活を送っており、ほとんどの生徒は基本的な生活習慣が身につけている。 ・きめ細やかな進路指導により、多くの生徒が希望する分野に進路を決めている一方で、自己の適性に合った進路を選択するのに時間がかかる生徒もいる。 【課題】 ・特定の生徒に欠席や遅刻が多い状況にあり、内面的な問題を抱えている場合が多い。 ・進学先や就職先の情報を自主的に収集・分析できる能力を身に付けさせる必要がある。	○基本的生活習慣の確立と規範意識の向上	①家庭との連絡を密にするとともに、教員間での情報共有と共通理解に基づく指導。 ②挨拶の励行と言葉遣いの日常実践の指導の徹底。 ③部活動に参加できている生徒たちへの、最後までやり通すための声掛け。 ④SC・SSWの活用、及び状況に応じた地域自治体との連携。	①欠席、遅刻、早退数は減少したか。 ②日常生活の中で積極的に挨拶をし、良好な人間関係を作られているか。 ③④人間関係を構築するスキルを身につけることができているか。アンケート結果に生徒の自己肯定感の向上がみられるか。			
		○進路意識の向上と進路実現	①個人面談を通して行う、主体的な進路選択の支援。 ②現2学年『9限目の教室』による地域との連携強化と、生徒全体としての進路選択の拡張。 ③進路学習や進路講演会等、進路行事の計画的な実施。 ④JSTの活用。	①②自己理解を深め、自らの将来像をイメージさせる機会を与えることができたか。 ③④自身の進路について具体的に考えられたことが、アンケート結果に表れているか。			
3	【現状】 ・生徒の作品を展示してもらえ、地域施設との連携等、美術科の活動を中心に広報活動の推進は図れたが、HPによる情報発信がまだ不十分である。 ・渉外部を通し、PTAとは適宜情報交換することができている。 ・学校説明会は、コロナ禍にあって、リモート形式や学科毎に時程を変える等の工夫を行ったが、募集人員確保は厳しい状況が続いている。 【課題】 ・本校HPについては、更新頻度と早期掲載を意識し、誌面の充実を図らなければならない。 ・広報活動として、地域の中学校・大学との交流事業等も検討していく必要がある。 ・学校行事でのふれあいや作品展示など、「実際に見てもらおう」機会をつくることで保護者・地域との連携を強化する。 ・学校説明会は昨年度同様の回数を維持しつつ内容の改善と告知の早期掲載に努め、募集人員の確保を実現する。	○教育活動の積極的な情報発信	①学校の教育活動に関するHPの更新。 ②学校行事への関心を高めるための、PTA会員への連絡、情報発信。 ③生徒及び保護者が参加できる地域行事についての情報収集。	①随時更新できたか。 ②③PTA会員や地域に理解・協力を得ることができたか。			
		○募集人員の確保	①HP上での、本校の教育活動についての公開と情報発信。 ②学校説明会の計画的な実施と、外部の説明会への積極的な参加。	①HPの更新頻度を維持することができたか。 ②学校説明会を計画的に実施できたか。			

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	